
大湾区情報 No. 24

グレーターベイエリア情報 発行：2021年11月9日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【大湾区でのビジネスチャンス：「インベスト香港」の支援を受けた外資系企業の58.1%が大湾区での市場開拓を希望、去年の44.6%から増加】



これまで海外法人の香港進出を支援してきた政府の対外投資推進窓口であるインベスト香港（InvestHK, 投資推進局）は、今年1月から9月までに香港外に親会社を持つ260社の香港進出を支援したと発表しました。そのうち、58.1%の企業が大湾区の発展から得られるチャンスを香港での事業設立または拡大の理由の一つとして挙げており、前年同期の44.6%から増加しています。

インベスト香港の蔣学礼（Dr. Jimmy Chiang）局長代理は、香港は大湾区の国際的なビジネスハブとして位置づけられると同時に、テクノロジーとイノベーションの国際的な中心地にもなっており、主に中国本土、アメリカ、イギリスなど、香港以外の地域に親会社を置く企業からの投資がいずれも年々増加していると述べました。ちなみに今年1月～9月において設立された香港外法人の子会社は、中国52社、アメリカ16社、イギリス16社となっています。

同期間中インベスト香港の進出サポートを受けた企業の「ファイナンス、金融サービス及びファミリーオフィス」、「イノベーション・テクノロジー」、「金融テクノロジー」の上位3業種は、互いに補完し合う関係にあり、これら3つの業種が香港に集結し、投資家の資金とスタートアップのコンセプトを組み合わせ、マッチングに成功したあかつきには、大湾区マーケットでビジネスチャンスを探ることができる、と蔣氏は続いて述べました。

インベスト香港は今年、中国本土や大湾区の様々な関係者との連携を強化し、ビジネスイベントなどの企画・参加など、大湾区でビジネスを行うメリットをアピールするために大湾区事業開発チームを立ち上げました。別途先日設立された「汎大湾区外来投資連絡グループ」と連動し、大湾区の他の都市と協力してプロモーションを行っていきます。

【広東省、香港の知的財産権問い合わせ窓口 12 ヵ所設置】



今年、広東省市場監督管理局（知的財産権局）と香港特区政府知的財産権署は、市場関係者や一般市民のニーズに呼応し、入念な調査と徹底したコミュニケーションを経て、大湾区中国本土 9 都市の知的財産権事業受付窓口で、一般市民を対象に香港での知的財産権業務に関する総合的なコンサルティングサービスを開始することを決定し、双方が共同で大湾区における知的財産権に関する公共サービス分野での協力推進の第一歩を踏み出しました。

それを踏まえ、広東省市場監督管理局（知的財産局）が通知を発行し、10月20日から、大湾区の中国本土内の 12 の知的財産サービス窓口在香港知的財産権情報問い合わせ窓口を設置し、一般公衆向けに、香港特別行政区での商標登録出願、特許付与、意匠登録に関連する業務の一般的なコンサルティングサービスを提供し、香港に出かけずして香港の知的財産権申請についてのプロセスなどの情報を得ることができるようになりました。

今回初めて設置された 12 の香港知的財産権問い合わせ窓口の都市別内訳は、広州市に 3 ヲ所、深圳市に 3 ヲ所、珠海市、仏山市、東莞市、中山市、江門市及び肇慶市それぞれに 1 ヲ所となっています。

中国本土で香港知的財産権業務の総合相談窓口を開設したことで、一方では大湾区の知的財産権における相互協力のエリアが効果的に拡大し、良好なビジネス環境が構築され、社会事業やイノベーションの関係者の知的財産権サービスに対する需要をさらに満足させることができ、また一方で、大湾区の知的財産権公共サービスの相互運用性をさらに実現し、大湾区知的財産権に関する「ワンストップ」の公共サービスプラットフォームの構築を積極的に模索するために、有益な探求を行うこともできた、と広東省の市場監督管理局の担当者は述べています。

【空港管理局、東莞に「香港国際空港ロジスティクスパーク」設立を計画：中国本土側での輸出通関手続き早期化を目指す】



香港の運輸及び住宅局局長の陳帆（Frank Chan）氏は、10月26日の立法会出席時、香港政府の空港管理機関、香港機場管理局（The Airport Authority Hong Kong、以下「AAHK」）は、香港国際空港及び大湾区の他の都市を結ぶ海空複合輸送を積極的に展開しており、東莞に「香港国際空港ロジスティクスパーク」、香港国際空港の制限区域管制区内に「制限区域海空複合輸送カーゴターミナル」

を設置し、中国本土からの輸出品は、東莞のロジスティクスパークでセキュリティ検査、梱包、パレタイズされ、貨物受け入れ後、海空複合輸送のカーゴターミナルにシームレスにて運ばれ、海外へ直接トランジットできるようになる、と述べました。

さらに、ハイエンドの旅行客向けに柔軟的なポイント・ツー・ポイントの越境航空交通サービスを提供し、大湾区の国際的なビジネス環境を強化することを目的として、深圳市との間で実現可能性を探り、意見交換を行っているとして述べました。同時に、香港政府は AAHK の珠海空港への出資プロジェクトに取り掛かっており、広東省と共に、珠海市において、航空機のメンテナンス、航空機部品の OEM 生産・配送、航空機エンジニアリングの専門研究、航空業界の専門技術者育成などをカバーするハイエンドの航空産業クラスターを構築したいと考えています。

また、香港政府は近代的な物流産業の発展を支援するための用地を物色しており、現在青衣と葵涌の 2 つの港湾後方支援用地のフィージビリティスタディ調査を完了しました。そのうち、青衣の用地は港湾・物流産業の運営を支援するための多層階の港湾後方支援施設と近代的な物流施設の開発のために、今年 12 月に売却が予定されており、市場の反応を見ながら、青衣にある別の物流用地のフィージビリティスタディ調査を行うかどうかを検討します。

陳氏はまた、香港海運港口局（Hong Kong Maritime and Port Board）がタスクフォースを設置し、業界と協力して「スマートポート」の開発を推進するための具体的なプランを検討していることを明らかにしました。その中には、ターミナル事業者や関連業界関係者によるコミュニケーションや情報へのアクセスを容易にするデジタルシステムの構築も含まれており、オペレーションの合理化や複数者間の調整の最適化を図ることで、香港の港湾効率をさらに高め、貨物処理にかかる時間とコストを削減することができます。

【参考資料】

・グレーターベイエリアでのビジネスチャンス：「インベスト香港」の支援を受けた外資系企業の58.1%が大湾区での市場開拓を希望、昨年の44.6%から増加
(香港経済日報 2021年10月29日)

・広東省、香港知的財産権問い合わせ窓口12カ所を設置

・国家知識産権局の広東省窓口が、香港知的財産権に関する一般的コンサルティングサービスをスタート

・広東省の12ヶ所で、香港知的財産権の一般コンサルティングサービスを開始、深圳には3ヶ所設置

・空港管理局、東莞に「香港国際空港ロジスティクスパーク」設立を計画：中国本土側での輸出通関手続き早期化を目指す
(香港経済日報 2021年10月26日)